



令和6年12月2日

未就学児を対象とした食育活動 ～『五感を通じて“食”を楽しむ力を育む実践活動』を開催～

この度、地域資源創成学部食品科学研究室の活動の一環として、五感に着目した食育活動を社会福祉法人木花こども園で開催することになりましたのでお知らせいたします。

当該研究室では、日頃より『食の機能』をキーワードに教育研究活動を推進しております。この活動の一環として、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを学ぶ総合的な教育である“食育”に取り組んでいます。今回、食事を味わって楽しく食べる習慣を身に着けるために重要な役割を果たしている“五感”に着目した食育活動を行うこととなりました。

私たちは、食事の際多くの情報を、五感を通じて認識しています。食事を味わって楽しく食べる習慣を身につけるには、小さい頃から多種多様な食品に親しみ、見て、触って、自分で食べようという意欲を大切に、味覚等、五感を使って美味しさの発見を繰り返す経験がとても重要であると考えられています。そのためには、しっかり噛み、美味しく、楽しく食べる方法を身に着ける食における五感教育が必要であると考えられています。実際に、食育推進宣言(平成19年)において、「人は食物を「口」から摂りこみ、十分に咀嚼することによって身体の栄養のみならず五感を通した味わいや寛ぎなどの心の栄養を得る」、「あらゆる場と機会を通して、口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができる食育を推進する」とされる等、五感を用いた食育は重要視されており、子どもの頃から五感を用いて様々な食べ物と触れ合う機会を増やすことが、食に対する興味関心醸成に必要であると考えられています。

そこで、私たちは、子ども達に目で見て、音を感じ、香りを嗅ぎ、手触りを確かめ、味わうという五感を育むプログラムを通して「五感の認知と五感と食べ物との関係」、「五感を感じながら食事をする楽しさ」を学びながら、食べ物に対する興味関心を持ってもらう機会を提供することを目的とした実践活動を実施します。

当日は、大学生が企画した、本学オリジナルキャラクター「みやだいうくん」と一緒に五感を学ぶ劇やワークショップを実施します。食べ物と五感の関係を学んだ後に、実際に五感を感じながら食べる体験をすることで得た経験が、生涯を通じて、食べる力を養う素地を醸成し、当該食育活動をきっかけとして食に対して興味関心を持つ子ども達を育成する一助となれればと考えております。

つきましては、当日の様子取材していただき、記事として取り上げていただけたら幸いに存じます。何かとご多忙中かとは存じますが、宜しく願い致します。詳細は別紙(裏面)のとおりとなります。

問い合わせ先 地域資源創成学部(山崎有美) E-mail: yamasakiy@cc.miyazaki-u.ac.jp TEL:080-4272-8693 (山崎)	発信元 企画総務部総務広報課 E-mail: kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp TEL:0985-58-7114
---	---

五感を通じて“食”を楽しむ力を育む実践活動

日 時：令和 6 年 12 月 13 日(金) 10:00 ～ 11:30

場 所：宮崎大学附属図書館(木花キャンパス) 3階「itanoma」

主 催：宮崎大学地域資源創成学部 食品科学研究室

対 象：木花こども園年長児(34 名)

備 考：発熱等の症状が見られる場合は、取材をご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

駐車場が必要な場合は、12/12(木)16:00 までにお知らせいただければ確保します。



▼ 令和5年の様子

